

次号予告

特集 イノベティブ・マネジメント

革新的マネジメントの条件—実例を中心として
……………上野 明(静岡県立大学)

企業戦略のイノベーション
……………奥村昭博(慶応義塾大学)

経営革新のための技術マネジメント
……………山之内昭夫(横浜国立大学)

社内ベンチャー制度再考—米国スリーエムにおける
社内ベンチャー制度の進化…沼上 幹(成城大学)

ニュービジネスにおけるイノベーション
……………鈴木 克也(日本合同ファイナンス)

日本オペレーションズ・リサーチ誌編集委員会

委員長	山田 善晴	東京理科大学
副委員長	日下 泰夫	東京都立商科短期大学
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	稲場日出男	工学院大学
	片山 隆仁	防衛庁
	川野幸三郎	日本ユニコー(㈱)
	城川 俊一	関東学園大学
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサー ビス(㈱)
	丹羽 清	㈱日立製作所
	平林 隆一	東京理科大学
	町原 文明	日本電信電話(㈱)
	松本 康男	㈱三和総合研究所
	矢部 博	東京理科大学

編集後記 ● 4月になると、年度が変わり桜見物などの楽しい季節になりました。学会員の皆様も、今年の冬はしつこい風邪に患わされた人も多く、ようやく季節の解放感に安堵されたことと思います。今年入会される新会員の方は平成元年の入会になり、われわれ昭和の会員とは世代を異にしますが、OR学会の発展のためにお互いががんばりましょう ● さて今回の特集は、階層化意思決定法(AHP)を再び取り上げました。昭和の会員の方は、すでに昭和61年にAHP(階層化意思決定法)というタイトルで初めて特集号を企画し好評をいただきました。今回はOR学会のAHP研究部会の2年間にわたる成果を中心に、主査の真鍋先生に企画をお願い致しました。今後とも魅力ある特集号の作成のため、各研究部会の協力をお願いします ● 加藤氏と権藤先生・宇佐川氏の論文は、AHP研究部会で発表された内容に沿ってまとめられたものです。加藤氏は、コンピュータ・システムやソフトウェアなどの高額な商品の購買に関して、代替案の比較評価というAHPの典型的な応用事例を紹介しています。

読者のみなさんも、これを参考にAHPの実践を試みられたらと思います。権藤先生と宇佐川氏は、ロータスのマクロ機能を使って、AHPを作成しておられます。AHPシートは、先生に申し込めば入手できますのでAHP入門の良い手助けになることでしょう。また、先生の対話型ORに関する意見は注目に値します。竹田先生はAHPの理論的な面で議論のある一対比較行列に関して紹介してもらいました。今後とも応用例にとどまらず、理論的な議論も必要かと考えます。真鍋先生は、「AHP利用上のヒント」という題で、初心者向けに簡単な論文を紹介されています。最後に、木下先生と真鍋先生にはAHP天津国際会議での内容を総合報告してもらいました。日本よりも、中国の方がAHP利用の熱が高いようですが、その理由としてわずかの経験者の意見と立案者の知識をAHPを使って実行できるという指摘は、AHPの特徴をよく捉えています。さて最後に、本特集を企画された片山氏の労をねぎらいたいと思います。

(新村秀一)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成元年4月号 第34巻 第4号 通巻340号

代表者 森村 英典

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-815-3351(代) FAX 03-815-3352 〒113

編集人 山田 善晴

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

● 本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円, 郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

● 本誌への広告お申し込みは明報社(546-1337)、日経弘報社(563-2241)へ